

イ) 第一子出産年齢

結婚年齢と第一子出産年齢の関係は図表 2-2-22の通りである。結婚年齢と第一子出産年齢には強い正の相関がみられる。

図表 2-2-22 母親の結婚時の年齢別 第一子出産年齢（実数記入）

Q3. 結婚時年齢 (母)	合計	Q4. 第1子出産時の年齢 (母)				
		22歳未満	22歳以上 25歳未満	25歳以上 28歳未満	28歳以上 30歳未満	30歳以上
全体	1765 100.0	35 2.0	191 10.8	548 31.0	439 24.9	552 31.3
22歳未満	73 100.0	33 45.2	34 46.6	3 4.1	1 1.4	2 2.7
22歳以上25歳未満	455 100.0	1 0.2	155 34.1	237 52.1	42 9.2	20 4.4
25歳以上28歳未満	745 100.0	0 0.0	0 0.0	304 40.8	322 43.2	119 16.0
28歳以上30歳未満	277 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	71 25.6	206 74.4
30歳以上	212 100.0	1 0.5	2 0.9	2 0.9	3 1.4	204 96.2

ウ) 子どもの人数（全体）

子どもの数と結婚年齢には、弱い負の相関が認められる。つまり結婚が早いほど、子どもの数はやや多くなる傾向にある。

図表 2-2-23 母親の結婚時の年齢別 子どもの人数（全体）（実数記入）

Q3. 結婚時の年齢 (母親)	合計	Q12-1. 子どもの人数				
		1人	2人	3人	4人	無回答
全体	1765 100.0	475 26.9	949 53.8	297 16.8	33 1.9	11 0.6
22歳未満	73 100.0	10 13.7	30 41.1	25 34.2	7 9.6	1 1.4
22歳以上25歳未満	455 100.0	89 19.6	251 55.2	101 22.2	12 2.6	2 0.4
25歳以上28歳未満	745 100.0	198 26.6	416 55.8	114 15.3	12 1.6	5 0.7
28歳以上30歳未満	277 100.0	95 34.3	144 52.0	36 13.0	1 0.4	1 0.4
30歳以上	212 100.0	82 38.7	107 50.5	20 9.4	1 0.5	2 0.9
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0

②子どもが生まれる前の意識

結婚年齢と出産前の母親の意識の関係をみると、「子どもを持つことが不安だった」という回答は、結婚年齢が高いほど、多くなっている。

「子どもを持つことが不安だった」、「子育てに関わりたくなかった」という回答は、30歳以上で結婚した母親での回答割合が高くなっている。

図表 2-2-24 母親の結婚時の年齢別 子どもが生まれる前の母親の意識

Q3. 結婚時年齢 (母)	全体	Q12. 出産前の意識 (母親)				
		子どもが 好きで欲 しかった	子どもを もつこと が不安 だった	子育ては 楽しいと 思ってい た	子育てに は関わり たくな かった	結婚した ら子ども をもつ は当然
全体	1765 100.0	1255 71.1	622 35.2	1138 64.5	222 12.6	1372 77.7
22歳未満	73 100.0	47 64.4	19 26.0	46 63.0	9 12.3	61 83.6
22歳以上25歳未満	455 100.0	331 72.7	153 33.6	309 67.9	43 9.5	383 84.2
25歳以上28歳未満	745 100.0	524 70.3	256 34.4	484 65.0	98 13.2	568 76.2
28歳以上30歳未満	277 100.0	202 72.9	104 37.5	173 62.5	35 12.6	200 72.2
30歳以上	212 100.0	149 70.3	90 42.5	125 59.0	37 17.5	158 74.5

(注) 「はい」と回答した数値である。

③子育ての不安や悩み

母親の子育ての不安・悩みと結婚年齢との関係については、図表 2-2-25 のようになる。「仕事・自分の時間がとれない」については、結婚年齢が高くなるとともに、回答割合が高くなる傾向にある。

図表 2-2-25 母親の結婚時の年齢別 母親の子育てにおける不安や悩み

Q3. 結婚時年齢 (母)	全体	Q14. 子育て上の不安・悩み				
		子どもと 接し方に 自信がな い	配偶者・ パートナー と意見が合 わない	仕事・自 分の時間 がとれな い	周りの目 が気になる	
全体	1765 100.0	473 26.8	770 43.6	515 29.2	1604 90.9	634 35.9
22歳未満	73 100.0	22 30.1	32 43.8	24 32.9	64 87.7	27 37.0
22歳以上25歳未満	455 100.0	128 28.1	197 43.3	145 31.9	412 90.5	180 39.6
25歳以上28歳未満	745 100.0	190 25.5	325 43.6	212 28.5	675 90.6	264 35.4
28歳以上30歳未満	277 100.0	70 25.3	125 45.1	74 26.7	252 91.0	94 33.9
30歳以上	212 100.0	60 28.3	90 42.5	58 27.4	198 93.4	69 32.5

(注) 「そう思う」、「ややそう思う」を足した数値である。

(5) 同居・近居状況の影響

世帯の同居・近居状況が与える影響について、対象世帯を図表 2-2-26 の 3 つのカテゴリーにわけて分析した。

この分析により、「三世代同居等」の世帯の母親がより子育てを楽しんでいること、また「核家族+近居あり」という世帯では、「子育てに自信がもてない」という悩みが強いということがわかった。

「核家族+近居なし」の世帯では、「子どもとの時間がとれない」と回答する割合は他のカテゴリーグループより低いものの、「自分の時間がとれない」という回答割合は他より高くなっている。

図表 2-2-26 同居・近居状況のカテゴリー化と分布

Q10. 同居人 (父)	合計	Q11. 近居している親族							
		父方が 近居	母方が 近居	その他	近居無し	無回答			
全体	1765	796	753	5	591	35			
	100.0	45.1	42.7	0.3	33.5	2.0			
核家族	1562	①			②	19			
	100.0					1.2			
父親の家族と同居	138	③				3			
	100.0								2.2
母親の家族と同居	40								0
	100.0								0.0
その他	6								0
	100.0				0.0				
無回答	19					13			
	100.0	10.5	10.5	0.0	21.1	68.4			

番号	カテゴリー名	世帯数
①	核家族×近居あり	995
②	核家族×近居なし	548
③	その他（三世代同居等）	184

①子育ての楽しさ

同居・近居状況ごとに母親の子育ての楽しさの違いをみると、「その他（三世代等）」の母親は、他のカテゴリーの母親よりも子育てを楽しんでいる人が多いことがわかる。

図表 2-2-27 同居・近居状況別 母親の子育ての楽しさ（単数回答）

Q11. 近居親族の有無	合計	Q11. 子育てを楽しんでいるか（母親）			
		いつも楽しい＋楽しいと感じる時の方が多い	楽しい時と辛い時が同じくらい	辛いと感じる時の方が多し＋いつも辛い	無回答
全体	1727 100.0	1175 67.2	464 27.4	84 5.1	4 0.3
核家族＋近居あり	995 100.0	665 66.8	277 27.8	51 5.1	2 0.2
核家族＋近居なし	548 100.0	373 68.1	145 26.5	29 5.3	1 0.2
その他（三世代等）	184 100.0	137 74.5	42 22.8	4 2.2	1 0.5

②子育ての不安・悩み

「核家族＋近居あり」の世帯では、「子どもとの接し方に自信が持てない」という悩みを持つ人が他のグループよりも多くなっている。また「核家族＋近居無し」の世帯では、「子どもとの時間が十分とれない」という悩みを持つ人は少ない一方で、「仕事・自分の時間が十分とれない」については他のグループよりも多くなっている。

図表 2-2-28 同居・近居状況別 母親の子育てにおける不安や悩み

Q11. 近居親族の有無	全体	Q14. 子育て上の不安・悩み				
		子どもとの時間を十分とれない	接し方に自信がない	配偶者・パートナーと意見が合わない	仕事・自分の時間がとれない	周りの目が気になる
全体	1727 100.0	462 26.8	746 43.2	502 29.1	1568 90.8	620 35.9
核家族＋近居あり	995 100.0	288 28.9	452 45.4	299 30.1	902 90.7	370 37.2
核家族＋近居なし	548 100.0	117 21.4	229 41.8	144 26.3	510 93.1	181 33.0
その他（三世代等）	184 100.0	57 31.0	65 35.3	59 32.1	156 84.8	69 37.5

（注）「そう思う」、「ややそう思う」を足した数値である。

(6) 子どもの人数による違い

世帯における子どもの人数（全体）が、母親の子育ての負担感・不安に与える影響を分析した。

子育ての悩み・不安のうち、「子どもとの時間が十分とれない」ことについては、子どもの人数の増加とともに、悩む人の割合が高くなる傾向にある。また「配偶者への満足度」は、子どもの多い世帯ほど、満足している人の割合が高くなる。

本調査における子どもの人数（全体）の分布は図表 2-2-29の通りである。

図表 2-2-29 子どもの人数（全体）の分布

Q12-1. 子どもの人数	人	%
1人	475	26.9
2人	948	53.7
3人	297	16.8
4人	33	1.9
無回答	11	0.6
全体	1765	100.0

①母親の現在の年齢

母親の現在の年齢が高いほど、子どもの人数は多くなる傾向にある。

図表 2-2-30 母親の現在の年齢別 子どもの人数（全体）（実数記入）

Q2. 年齢(母)	合計	Q12-1. 子どもの人数					無回答
		1人	2人	3人	4人		
全体	1765 100.0	475 26.9	949 53.8	297 16.8	33 1.9	11 0.6	
30歳未満	164 100.0	77 47.0	76 46.3	11 6.7	0 0.0	0 0.0	
30歳以上33歳未満	326 100.0	125 38.3	159 48.8	39 12.0	2 0.6	1 0.3	
33歳以上36歳未満	489 100.0	116 23.7	287 58.7	72 14.7	8 1.6	6 1.2	
36歳以上40歳未満	560 100.0	112 20.0	318 56.8	120 21.4	9 1.6	1 0.2	
40歳以上	225 100.0	45 20.0	109 48.4	54 24.0	14 6.2	3 1.3	

②子育ての楽しさ

子育てが「辛い」と感じる人の割合は、子どもが「1人」あるいは「2人」の人に、やや多い傾向にある。

図表 2-2-31 子どもの人数別 母親の子育ての楽しさ（単数回答）

Q12-1. 子どもの人数	合計	Q11. 子育てを楽しんでいるか（母親）			
		いつも楽しい+楽しいと感じる時の方が多い	楽しい時と辛い時が同じくらい	辛いと感じる時の方が多い+いつも辛い	無回答
全体	1765 100.0	0 0.0	476 27.0	0 0.0	5 0.3
1人	475 100.0	0 0.0	115 24.2	0 0.0	3 0.6
2人	949 100.0	0 0.0	271 28.6	0 0.0	1 0.1
3人	297 100.0	0 0.0	76 25.6	0 0.0	1 0.3
4人	33 100.0	0 0.0	10 30.3	0 0.0	0 0.0
無回答	11 100.0	0 0.0	4 36.4	0 0.0	0 0.0

③子育ての不安や悩み

「子どもとの時間が十分とれない」については、子どもの人数の増加とともに、悩む人の割合が高くなる傾向にある。

図表 2-2-32 子どもの人数別 母親の子育てにおける不安や悩み

Q12-1. 子どもの人数	全体	Q14. 子育てにおける不安・悩み				
		子どもとの時間が十分とれない	接し方に自信がない	配偶者・パートナーと意見が合わない	仕事・自分の時間がとれない	周りの目が気になる
全体	1765 100.0	473 26.8	770 43.6	515 29.2	1604 90.9	634 35.9
1人	475 100.0	121 25.5	205 43.2	125 26.3	425 89.5	169 35.6
2人	949 100.0	243 25.6	417 43.9	279 29.4	874 92.1	345 36.4
3人	297 100.0	95 32.0	128 43.1	98 33.0	267 89.9	103 34.7
4人	33 100.0	11 33.3	12 36.4	9 27.3	27 81.8	11 33.3
無回答	11 100.0	3 27.3	8 72.7	4 36.4	11 100.0	6 54.5

(注) 「そう思う」、「ややそう思う」を足した数値である。

④満足度

子どもの人数（全体）と、母親の満足度の関係を見ると、「配偶者への満足度」については、子どもの人数の増加とともに、満足している人の割合も高くなる傾向にある。

図表 2-2-33 子どもの人数別 母親の満足度

Q12-1. 子どもの人数	全体	Q31. 満足度		
		子育て環境に満足している	配偶者等に満足している	自分の時間に満足している
全体	1765 100.0	980 55.5	1375 77.9	788 44.6
1人	475 100.0	253 53.3	368 77.5	215 45.3
2人	949 100.0	540 56.9	740 78.0	422 44.5
3人	297 100.0	165 55.6	234 78.8	133 44.8
4人	33 100.0	20 60.6	28 84.8	15 45.5
無回答	11 100.0	2 18.2	5 45.5	3 27.3

(注) 「満足している」、「まあ満足している」を足した数値である。

2. 父親の子育て意識と行動の分析

父親の家事・子育てへの参加意識が、どのような行動の違いに現れているのか、また子育ての楽しさ・負担感・メリット感といった意識と、どのように関連しているのかを分析した。

父親の行動分析では、子育て優先度の希望として「子育て重視」の父親は、他の父親に比べて子どもと過ごしている時間が長いことがわかった。また出産後の働き方として、「労働時間の短縮」、「勤務時間のシフト」などを希望している人が多いことがわかった。これらの希望のうち「勤務時間のシフト」、「勤務地を変える」については、現実となっている割合も、他のグループと比べてやや多くなっているが、「労働時間の短縮」などについては現実となっている割合は他のグループと差がなかった。育児休業の取得経験についても、優先度の違いによる差はみられない。取得できない理由として、「子育て重視」の父親は「職場の雰囲気取得しにくい」と感じている人が多い。

意識との関連分析によると、「子育て重視」の父親ほど、「子どもとの時間が十分とれない」、「仕事や自分のことが十分できない」という悩みを感じている割合が高い。一方、「子育て重視」の父親では、子育てを「楽しい」と感じている人も多く、子育てのメリットを感じている人も多いことがわかった。

図表 2-2-34 父親の子育て優先度の希望の分布（再掲）

「子育て優先度の希望」の回答(単数回答)	単純集計	カテゴリー	該当者数 (%)
仕事や趣味・ボランティアなどの自分の活動に専念	10.3%	仕事・自分重視	532 (30.1%)
どちらかと言えば、家事や育児より仕事や自分の活動に専念	19.8%		
仕事や自分の活動と、家事や育児を同等に重視	51.6%	両立	910 (51.6%)
どちらかと言えば、仕事や自分の活動より家事や育児が優先	15.9%	子育て重視	305 (17.3%)
家事や育児に専念	1.4%		
無回答	1.0%	無回答	18 (1.0%)

(1) 父親の意識と行動

①働き方の希望と実際

子どもが生まれた際の、働き方の変化の「希望」をみると、「子育て重視」の父親では「労働時間短縮」、「労働時間シフト」、「出勤日を変える」、「勤務地変更」、「フレックス利用」、「転職」について、他のグループと比べて、希望した人の割合が高い。また「これまでどおりの働き方」を希望した人の割合は低くなっている。

一方、働き方の変化の「現実」をみると、「子育て重視」の父親も、「労働時間短縮」、「出勤日を変える」については、「希望」よりも小さな割合となっており、他のグループとの差もみられない。「勤務時間シフト」については、他のグループよりも、現実となった割合が高くなっているが、希望の3分の1程度となっている。

図表 2-2-35 父親の子育て優先度の希望別 父親の働き方の変化の希望（複数回答）

Q16-b. 子育ての優先度…希望	合計	Q19-1-a. 働き方について：希望								
		これまでと変わらない働き方をする	労働時間を減らす	労働時間を増やす	収入を増やす	勤務時間をシフトする	出勤日を変える	勤務地を変える	正社員からパート・アルバイトに変える	フレックスタイムを利用する
全体	1765 100.0	989 56.0	511 29.0	74 4.2	1001 56.7	133 7.5	120 6.8	90 5.1	17 1.0	86 4.9
仕事・自分重視	532 100.0	359 67.5	101 19.0	33 6.2	296 55.6	29 5.5	30 5.6	22 4.1	7 1.3	23 4.3
両立	910 100.0	493 54.2	273 30.0	24 2.6	526 57.8	62 6.8	53 5.8	41 4.5	6 0.7	41 4.5
子育て重視	305 100.0	129 42.3	134 43.9	16 5.2	170 55.7	42 13.8	36 11.8	26 8.5	4 1.3	22 7.2

Q16-b. 子育ての優先度…希望	合計	Q19-1-b. 働き方について：現実			
		転職する	仕事を辞める	元々仕事はしていなかった	無回答
全体	1765 100.0	106 6.0	39 2.2	5 0.3	179 10.1
仕事・自分重視	532 100.0	30 5.6	11 2.1	2 0.4	52 9.8
両立	910 100.0	47 5.2	15 1.6	1 0.1	94 10.3
子育て重視	305 100.0	29 9.5	13 4.3	2 0.7	29 9.5

図表 2-2-36 父親の子育て優先度の希望別 父親の働き方の変化の現実（複数回答）

Q16-b. 子育ての優先度…希望	合計	Q19-1-b. 働き方について：現実								
		これまでと変わらない働き方をする	労働時間を減らす	労働時間を増やす	収入を増やす	勤務時間をシフトする	出勤日を変える	勤務地を変える	正社員からパート・アルバイトに変える	フレックスタイムを利用する
全体	1765 100.0	1023 58.0	115 6.5	227 12.9	340 19.3	56 3.2	66 3.7	93 5.3	14 0.8	61 3.5
仕事・自分重視	532 100.0	339 63.7	31 5.8	67 12.6	103 19.4	9 1.7	9 1.7	21 3.9	4 0.8	11 2.1
両立	910 100.0	518 56.9	58 6.4	119 13.1	177 19.5	32 3.5	41 4.5	45 4.9	4 0.4	36 4.0
子育て重視	305 100.0	156 51.1	26 8.5	39 12.8	57 18.7	15 4.9	16 5.2	27 8.9	6 2.0	14 4.6

Q16-b. 子育ての優先度…希望	合計	Q20. 働き方について：現実			
		転職する	仕事を辞める	元々仕事はしてなかった	無回答
全体	1765 100.0	108 6.1	26 1.5	5 0.3	358 20.3
仕事・自分重視	532 100.0	28 5.3	6 1.1	2 0.4	99 18.6
両立	910 100.0	52 5.7	14 1.5	1 0.1	178 19.6
子育て重視	305 100.0	28 9.2	6 2.0	2 0.7	74 24.3

③育児休業の取得について

育児休業の取得経験は、子育て優先度との関係はみられなかった。取得できなかった理由では、「取得しにくい雰囲気があった」について、「子育て重視」の父親の回答は他のグループよりも多くなっている。「取得したいと思わなかった」という回答は、子育て優先度が高いほど低い傾向がある。特に「子育て重視」の父親の回答割合は低い。

図表 2-2-37 父親の子育て優先度の希望別 父親の育児休業の取得状況（単数回答）

Q16-b. 子育ての優先度…希望	合計	Q21. 育児休業の取得について				
		取得経験あり	上の子時も末子時も取得しなかった	子は長子のみで、取得しなかった	働いていない等、該当しない	無回答
全体	1765 100.0	41 2.3	963 54.6	340 19.3	299 16.9	122 6.9
仕事・自分重視派	532 100.0	13 2.4	295 55.5	93 17.5	101 19.0	30 5.6
両立派	910 100.0	21 2.3	493 54.2	193 21.2	141 15.5	62 6.8
家事・育児重視派	305 100.0	7 2.3	168 55.1	53 17.4	53 17.4	24 7.9

図表 2-2-38 父親の子育て優先度の希望別 父親の育児休業を取得しなかった理由

(複数回答)

Q16-b. 子育ての優先度…希望	合計	Q21-1. 育児休業を取得しなかった理由								
		職場に制 度がな かったの で取りに くい	仕事が忙 しく、同 僚に迷惑 がかかる	取得しに くい雰囲 気が職場 にあった	育児休業 の対象者 ではな かった	取得する と収入が 減る	制度を知 らなかつ た	勤務評価 に影響す る	配偶者等 が取得し た為、必 要なかつ た	配偶者等 の協力の で、必要 なかつた
全体	1310 100.0	273 20.8	467 35.6	303 23.1	53 4.0	173 13.2	91 6.9	182 13.9	93 7.1	604 46.1
仕事・自分重視	392 100.0	86 21.9	143 36.5	94 24.0	19 4.8	54 13.8	24 6.1	58 14.8	25 6.4	165 42.1
両立	689 100.0	130 18.9	238 34.5	144 20.9	25 3.6	85 12.3	45 6.5	89 12.9	48 7.0	345 50.1
子育て重視	221 100.0	55 24.9	82 37.1	63 28.5	8 3.6	32 14.5	21 9.5	33 14.9	20 9.0	89 40.3
無回答	8 100.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	5 62.5

Q16-b. 子育ての優先度…希望	合計			
		取得した いと思わ なかつた	その他	無回答
全体	1310 100.0	132 10.1	41 3.1	11 0.8
仕事・自分重視	392 100.0	57 14.5	7 1.8	5 1.3
両立	689 100.0	65 9.4	27 3.9	4 0.6
子育て重視	221 100.0	9 4.1	7 3.2	2 0.9
無回答	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0

(2) 子育ての楽しさ・不安・メリット

①父親の子育ての楽しさ

子育て優先度の希望が高い父親ほど、子育てを「楽しい」と感じている人の割合が高い。

図表 2-2-39 父親の子育て優先度の希望別 父親の子育ての楽しさ（単数回答）

Q16-b. 子育ての優先度…希望	合計	Q11. 子育てを楽しんでいるか（父親）			
		いつも楽しい+楽しいと感じる時の方が多い	楽しい時と辛い時が同じくらい	辛いと感じる時の方が多い+いつも辛い	無回答
全体	1765 100.0	1367 77.5	346 19.6	33 1.9	19 1.1
仕事・自分重視	532 100.0	381 71.6	129 24.2	20 3.8	2 0.4
両立	910 100.0	719 79.0	177 19.5	10 1.1	4 0.4
子育て重視	305 100.0	262 85.9	40 13.1	3 1.0	0 0.0
無回答	18 100.0	5 27.8	0 0.0	0 0.0	13 72.2

②子育ての不安や悩み

「子どもとの時間がとれない」、「仕事や自分のことが十分できない」という悩みについては、子育て優先度の希望が高いほど、悩む父親の割合も高くなる。逆に「配偶者と意見が合わない」という悩みは「仕事・自分重視」の父親ほど、高い割合となっている。

図表 2-2-40 父親の子育て優先度の希望別 父親の子育ての不安や悩み

Q16-b. 子育ての優先度…希望	全体	Q17. 子育てにおける不安と悩み				
		子どもとの時間を十分とれない	接し方に自信が持てない	配偶者・パートナーと意見が合わない	仕事や自分のことが十分にできない	周囲の目が気になる
全体	1765 100.0	1233 69.9	429 24.3	456 25.8	1041 59.0	164 9.3
仕事・自分重視	532 100.0	365 68.6	143 26.9	177 33.3	304 57.1	55 10.3
両立	910 100.0	637 70.0	211 23.2	217 23.8	539 59.2	77 8.5
子育て重視	305 100.0	221 72.5	73 23.9	57 18.7	187 61.3	31 10.2
無回答	18 100.0	10 55.6	2 11.1	5 27.8	11 61.1	1 5.6

(注) 「そう思う」、「ややそう思う」を足した数値である。

③子育てのメリット

子育てのメリットのうち、子どもを通じた「付き合いがひろがる」、「子育てが仕事に役立つ」、「自分がかげがえない存在に思える」については、子育て優先度が高い父親ほどメリットを感じる割合が高くなっている。

「仕事・自分重視」の父親は、全ての項目について、最もメリットを感じている割合が低い。また「両立派」は、「家族と会話がはずむ」という家族内のコミュニケーションについて、最もメリットを感じている割合が高い。

図表 2-2-41 父親の子育て優先度の希望別 父親の子育てのメリット

Q16-b. 子育ての優先度…希望	全体	Q18. 子育てのメリット					
		家族と会話がはずむ	配偶者等との信頼が深まる	付き合いが広がる	子育て経験が仕事に活かす	子どもから学ぶことが多い	自分がかげがえない存在だと思う
全体	1765 100.0	1555 88.1	1442 81.7	886 50.2	758 42.9	1537 87.1	1500 85.0
仕事・自分重視	532 100.0	456 85.7	412 77.4	222 41.7	173 32.5	436 82.0	438 82.3
両立	910 100.0	817 89.8	771 84.7	491 54.0	416 45.7	812 89.2	777 85.4
子育て重視	305 100.0	264 86.6	243 79.7	166 54.4	162 53.1	272 89.2	268 87.9
無回答	18 100.0	18 100.0	16 88.9	7 38.9	7 38.9	17 94.4	17 94.4

(注) 「そう思う」、「ややそう思う」を足した数値である。

3. 父親の子育て参加に対する父母の評価差分析

本調査では、父親・母親の双方に対し、「あなたとあなたの配偶者・パートナーの子育てへの関わりは十分だと思いますか」という設問をもうけた（父親調査：問 23、母親調査：問 17）。この問に対する回答の一致状況から各世帯を分類し、それぞれの意識・期待・行動について分析する。分析の軸として、父親の子育てへの参加への評価結果から図表 2-2-42 のようなカテゴリ分類を行ない、これを用いて分析を行なった。

この中で、他と異なる特徴が有意に現れたのは、「++型世帯（父親本人の評価も母親からの評価もともに良い）」と「-+型世帯（父親本人の評価は良くないが、母親からの評価は良い）」の父親像であった。「++型世帯」の父親は、出産前から子育てに対する不安が小さく、子育てを楽しむ、という気持ちが強いことが特徴である。「-+型世帯」の父親は、子どもと過ごす時間も比較的長く、子育て優先度の意識も高い。しかし、現実には希望ほど子育てを優先できていない、と自己評価している。また出産以前の意識をみると、「子育てに自信がない」という意識が強く、「子育ては楽しい」という意識はやや弱くなっている。

図表 2-2-42 父親への評価によるカテゴリ

		母親による父親の評価 (世帯数)	
		十分	不十分
父親の自己評価	十分	++型 父母の評価がともに よ い (803 件)	+-型 父親の自己評価は よ い が 母 親 の 評 価 は よ く な い (182 件)
	不十分	-+型 父親の自己評価は よ く な い が 母 親 の 評 価 は よ い (364 件)	--型 父母の評価がとも に よ く な い (399 件)

①就業状況

各カテゴリーにおける父親・母親の就業状況は以下の通りとなっている。

図表 2-2-43 父親への評価分類別 父親の就業形態（単数回答）

父親の育児参加 (世帯)	合計	Q4. 就業形態							
		正社員： おおむね 定時退社	正社員： 恒常的に 残業あり	正社員： フレックスタイム や短時間 就業	正社員： 勤務時間 が不規則	正社員： 在宅勤務	派遣・契 約社員	パート・ アルバイト	自営業・ 家族従業
全体	1765 100.0	335 19.0	1004 56.9	34 1.9	196 11.1	4 0.2	15 0.8	9 0.5	135 7.6
++型	803 100.0	199 24.8	411 51.2	14 1.7	90 11.2	3 0.4	10 1.2	4 0.5	61 7.6
+一型	182 100.0	34 18.7	96 52.7	9 4.9	14 7.7	0 0.0	2 1.1	2 1.1	21 11.5
-一型	364 100.0	59 16.2	224 61.5	5 1.4	41 11.3	1 0.3	2 0.5	1 0.3	20 5.5
--型	399 100.0	39 9.8	265 66.4	6 1.5	49 12.3	0 0.0	0 0.0	2 0.5	33 8.3
無回答	17 100.0	4 23.5	8 47.1	0 0.0	2 11.8	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0

父親の育児参加 (世帯)	合計	就業形態			
		内職・在 宅ワーク	無職	その他	無回答
全体	1765 100.0	2 0.1	11 0.6	12 0.7	8 0.5
++型	803 100.0	0 0.0	3 0.4	4 0.5	4 0.5
+一型	182 100.0	0 0.0	1 0.5	3 1.6	0 0.0
-一型	364 100.0	0 0.0	4 1.1	4 1.1	3 0.8
--型	399 100.0	1 0.3	3 0.8	0 0.0	1 0.3
無回答	17 100.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0

図表 2-2-44 父親への評価分類別 母親の就業形態（単数回答）

父親の育児参加 (世帯)	合計	Q6. 就業状態								
		正社員： おおむね 定時退社	正社員： 恒常的に 残業有り	正社員： フレックスタイム や短時間 就業	正社員： 勤務時間 が不規則	正社員： 在宅勤務	派遣・契 約社員	パート・ アルバイト	自営業・ 家族従業	内職・在 宅ワーク
全体	1765 100.0	82 4.6	22 1.2	15 0.8	10 0.6	3 0.2	38 2.2	354 20.1	52 2.9	96 5.4
++型	803 100.0	43 5.4	8 1.0	8 1.0	7 0.9	2 0.2	12 1.5	158 19.7	25 3.1	43 5.4
+ -型	182 100.0	12 6.6	4 2.2	2 1.1	1 0.5	0 0.0	4 2.2	37 20.3	10 5.5	8 4.4
- +型	364 100.0	12 3.3	2 0.5	2 0.5	1 0.3	1 0.3	6 1.6	69 19.0	8 2.2	18 4.9
--型	399 100.0	15 3.8	7 1.8	3 0.8	1 0.3	0 0.0	15 3.8	82 20.6	9 2.3	25 6.3
無回答	17 100.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	8 47.1	0 0.0	2 11.8

父親の育児参加 (世帯)	合計	就業形態		
		無職	その他	無回答
全体	1765 100.0	1049 59.4	36 2.0	8 0.5
++型	803 100.0	482 60.0	12 1.5	3 0.4
+ -型	182 100.0	97 53.3	7 3.8	0 0.0
- +型	364 100.0	236 64.8	6 1.6	3 0.8
--型	399 100.0	229 57.4	11 2.8	2 0.5
無回答	17 100.0	5 29.4	0 0.0	0 0.0

②父親が子どもと過ごす時間

各階級の中央値と割合の積算から、各世帯で働く父親が子どもと過ごす平均時間をそれぞれ求めた。特に++型と--型の違いは明確で、父親の子育てへの関わりに対する評価と、実際に子どもと過ごす時間との間には関係があることがわかる。

図表 2-2-45 父親への評価分類別 働く父親が子どもと過ごす時間（平均）

	++型 (n=796)	+ -型 (n=181)	- +型 (n=357)	--型 (n=395)
平日（時間）	2.18	1.74	1.56	1.06
休日（時間）	10.54	8.48	9.31	7.65

③母親の子育ての楽しさ

これらの類型における、母親の「子育てをどのように感じているか」という設問への回答をみると、++型では、他の類型に比べて母親が子育てを「楽しい」と感じている割合が高い。++型と-+型の間で差が生じていることから、母親の「子育ての楽しさ」という意識は、パートナーである父親の子育てへの関わり度合いに対する自己評価と関係していると言える。

図表 2-2-46 父親への評価分類別 母親の子育ての楽しさ（単数回答）

父親の育児参加 (世帯)	合計	Q11. 子育てを楽しんでいるか (母親)			
		いつも楽しい+ 楽しいと感じる 時の方が多い	楽しい時と 辛い時が同じ くらい	辛いと感じる時 の方が多い+ いつも辛い	無回答
全体	1765 100.0	1197 67.8	476 27.0	87 4.9	5 0.3
++型	803 100.0	608 75.7	170 21.2	24 3.0	1 0.1
+型	182 100.0	108 59.3	59 32.4	15 8.2	0 0.0
-+型	364 100.0	234 64.3	116 31.9	13 3.6	1 0.3
--型	399 100.0	238 59.6	124 31.1	34 8.5	3 0.8
無回答	17 100.0	9 52.9	7 41.2	1 5.9	0 0.0

④子どもが生まれる前の意識

父親の出産前の意識を各カテゴリーについて調べると、-+型で自己評価の低い父親は、出産前に「子どもを持つのは不安」という意識を持っていた人が多く、「子育ては楽しい」と考えていた人は少ない。

図表 2-2-47 父親への評価分類別 子どもが生まれる前の父親の意識

父親の育児参加 (世帯)	全体	Q15. 出産前の意識 (父親)				
		子どもが ほしかった	子どもを もつのは 不安	子育ては 楽しい	子育ては 大変で関 わりたく ない	結婚すれ ば子ども をもつ のは当 たり前
全体	1765 100.0	1360 77.1	519 29.4	1059 60.0	265 15.0	1440 81.6
++型	803 100.0	648 80.7	202 25.2	510 63.5	85 10.6	660 82.2
+型	182 100.0	135 74.2	50 27.5	105 57.7	37 20.3	138 75.8
-+型	364 100.0	270 74.2	137 37.6	201 55.2	64 17.6	298 81.9
--型	399 100.0	294 73.7	127 31.8	231 57.9	78 19.5	328 82.2
無回答	17 100.0	13 76.5	3 17.6	12 70.6	1 5.9	16 94.1

(注) 「はい」と回答した数値である。

⑤父親の子育て優先度の実態と希望

父親の子育て優先度についてみると、希望の段階では、++型の父親と-+型の父親の間に差はないが、他の2グループと比べると、「子育て重視」を希望する割合が高くなっている。

一方、子育ての優先度の現実をみると、-+型の父親は、+-型、--型とでは差がみられない。このことから、-+型の父親は、母親からは関わりが十分にみえるものの、本人が本来持っていた、より高い希望を達成できていないことから、自己評価が低いと考えられる。

図表 2-2-48 父親への評価分類別 父親の子育て優先度の希望と現実（単数回答）

【希望】

父親の育児参加 (世帯)	合計	Q16-b. 子育ての優先度：希望			
		仕事・自分重視	両立	子育て重視	無回答
全体	1765 100.0	532 30.1	910 51.6	305 17.3	18 1.0
++型	803 100.0	234 29.1	411 51.2	148 18.4	10 1.2
+-型	182 100.0	70 38.5	82 45.1	26 14.3	4 2.2
-+型	364 100.0	91 25.0	201 55.2	72 19.8	0 0.0
--型	399 100.0	133 33.3	209 52.4	54 13.5	3 0.8
無回答	17 100.0	4 23.5	7 41.2	5 29.4	1 5.9

【現実】

父親の育児参加 (世帯)	合計	Q16-a. 子育ての優先度：現実			
		仕事・自分重視	両立	子育て重視	無回答
全体	1765 100.0	1151 65.2	458 25.9	135 7.6	21 1.2
++型	803 100.0	400 49.8	305 38.0	88 11.0	10 1.2
+-型	182 100.0	126 69.2	43 23.6	8 4.4	5 2.7
-+型	364 100.0	273 75.0	69 19.0	21 5.8	1 0.3
--型	399 100.0	343 86.0	36 9.0	16 4.0	4 1.0
無回答	17 100.0	9 52.9	5 29.4	2 11.8	1 5.9

⑥父親の家事・子育てについて評価する点

母親が父親の家事・子育てに対して評価する点を個別にみた場合、++型と-+型が、また+-型と--型がそれぞれ似た回答傾向を示しており、しかも前者のグループに対する評価の方が高い。異なる設問での評価傾向が一致していることから、母親の評価には一定の一貫性があるといえる。

++型と-+型の間には、「子育てを楽しんでいる」という項目のみで差がみられた。

+-型、--型では、「日常の家事をする」、「子どもの日常の世話をする」といった項目については、+-型の方が母親からの評価が有意に高いのに対し、「子どものしつけをする」については、--型の方が母親からの評価が高い。

図表 2-2-49 父親への評価分類別 父親の家事・子育てで評価する点（複数回答）

父親の育児参加 (世帯)	合計	Q18-a. 配偶者等について：評価する点								
		日常の家事をする	子どもの日常の世話をする	子どもが病気の時の世話を する	子どもとよく遊ぶ	イベント、行事に熱心に 参加する	子どもの話を良く聞き、気持ち を理解する	子どもの模範となる生活態度 をとる	子どものしつけをする	子どもの発達や教育に関心 が高い
全体	1765 100.0	336 19.0	760 43.1	323 18.3	933 52.9	606 34.3	525 29.7	134 7.6	347 19.7	313 17.7
++型	803 100.0	188 23.4	425 52.9	175 21.8	538 67.0	304 37.9	277 34.5	78 9.7	178 22.2	157 19.6
+ -型	182 100.0	31 17.0	57 31.3	29 15.9	59 32.4	52 28.6	45 24.7	8 4.4	19 10.4	26 14.3
- +型	364 100.0	74 20.3	188 51.6	68 18.7	205 56.3	126 34.6	113 31.0	27 7.4	75 20.6	69 19.0
--型	399 100.0	40 10.0	84 21.1	50 12.5	125 31.3	115 28.8	87 21.8	19 4.8	70 17.5	57 14.3
無回答	17 100.0	3 17.6	6 35.3	1 5.9	6 35.3	9 52.9	3 17.6	2 11.8	5 29.4	4 23.5

父親の育児参加 (世帯)	合計	父親の家事・子育てで評価する点						無回答
		夫婦で子育てに関する話し 合いをする	子育てに奮闘している自分 を認める	夫婦で子育ての悩みを分か ち合う	子育てを楽しむ	その他	特にない	
全体	1765 100.0	525 29.7	382 21.6	341 19.3	408 23.1	14 0.8	37 2.1	37 2.1
++型	803 100.0	265 33.0	185 23.0	182 22.7	249 31.0	1 0.1	1 0.1	4 0.5
+ -型	182 100.0	43 23.6	32 17.6	16 8.8	18 9.9	6 3.3	10 5.5	5 2.7
- +型	364 100.0	121 33.2	79 21.7	81 22.3	77 21.2	1 0.3	2 0.5	4 1.1
--型	399 100.0	89 22.3	82 20.6	57 14.3	59 14.8	6 1.5	24 6.0	20 5.0
無回答	17 100.0	7 41.2	4 23.5	5 29.4	5 29.4	0 0.0	0 0.0	4 23.5

⑦父親の家事・子育てに対する不満

母親が父親の家事・子育てに対して感じている不満を個別にみた場合、+-型と--型の間には、有意差は認められなかった。

一方、++型と-+型の間では、以下の網掛け部の項目について有意差が認められた。+-型、--型ほどではないが、-+型の父親に対しては若干不満が多くなっている。やはり、父親本人が「十分でない」と感じる背景として、母親側にも具体的な不満があると考えられる。

図表 2-2-50 父親への評価分類別 父親の育児に対する不満（複数回答）

父親の育児参加 (世帯)	合計	Q18-b. 配偶者等について：不満な点								
		日常の家事をする	子どもの日常の世話をする	子どもが病気の時の世話をする	子どもとよく遊ぶ	イベント、行事に熱心に参加する	子どもの話を良く聞き、気持ちを理解する	子どもの模範となる生活態度をとる	子どものしつけをする	子どもの発達や教育に関心が高い
全体	1765 100.0	574 32.5	311 17.6	271 15.4	332 18.8	265 15.0	357 20.2	676 38.3	261 14.8	229 13.0
++型	803 100.0	211 26.3	68 8.5	88 11.0	71 8.8	93 11.6	131 16.3	292 36.4	98 12.2	90 11.2
+-型	182 100.0	76 41.8	53 29.1	41 22.5	62 34.1	45 24.7	47 25.8	67 36.8	40 22.0	30 16.5
-+型	364 100.0	122 33.5	55 15.1	55 15.1	52 14.3	36 9.9	64 17.6	140 38.5	48 13.2	43 11.8
--型	399 100.0	158 39.6	133 33.3	85 21.3	142 35.6	90 22.6	111 27.8	170 42.6	71 17.8	64 16.0
無回答	17 100.0	7 41.2	2 11.8	2 11.8	5 29.4	1 5.9	4 23.5	7 41.2	4 23.5	2 11.8

父親の育児参加 (世帯)	合計	夫婦で子育てに関する話し合いをする						無回答
		夫婦で子育てに関する話し合いをする	子育てに奮闘している自分を認める	夫婦で子育ての悩みを分かち合う	子育てを楽しむ	その他	特にない	
全体	1765 100.0	266 15.1	342 19.4	290 16.4	139 7.9	49 2.8	147 8.3	112 6.3
++型	803 100.0	86 10.7	121 15.1	82 10.2	34 4.2	17 2.1	105 13.1	71 8.8
+-型	182 100.0	36 19.8	44 24.2	40 22.0	20 11.0	4 2.2	4 2.2	3 1.6
-+型	364 100.0	56 15.4	79 21.7	59 16.2	33 9.1	3 3.3	27 7.4	25 6.9
--型	399 100.0	87 21.8	95 23.8	107 26.8	51 12.8	16 4.0	10 2.5	9 2.3
無回答	17 100.0	1 5.9	3 17.6	2 11.8	1 5.9	0 0.0	1 5.9	4 23.5